



(一社)群馬県計量協会
会長 横田 貞一

迎春

2024年 新年のご挨拶



けいりょう君

皆さん、新年あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

まずはこうして無事に輝かしい年を皆さんと迎えることが出来、心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。

さて、世界に目を向けますと、イスラエルのパレスチナ侵攻やロシアによるウクライナ侵攻の長期化などにより、世界の分断化が進んでおり混迷の度を深めております。

世界経済においては、欧米の高金利・高インフレと中国の景気減速の下で停滞感が強まってきており、我が国においては物価の高騰や円安が進行していますが、コロナ禍からの経済活動正常化の動きが続くことから、先行きは内需の押し上げにより景気は緩やかに回復すると見込まれています。

一方、環境においては、地球温暖化の進行により、熱波や集中豪雨などの異常気象による災害が世界各地で頻発しており、今後干ばつによる食糧危機や海面上昇による居住地の喪失など引き起こされることが懸念され、世界中において、地球温暖化を防止するため、CO2の排出を実質ゼロにする「脱炭素社会」への取組が始まっています。

そうした中、これからの時代におきましては、地域社会や地球環境との共生・共存をしながら、事業活動を展開していくことが企業に求められており、その一つとしてSDGsの推進があります。当協会としましては、本年度から環境分科会が中心となって、前橋市SDGsパートナー制度に登録

し、地域の多くの方々と協力して持続可能な社会の実現を目指すべく取組を開始しました。

本来事業では、県内の適正な計量の実施を確保するため、引き続き県及び特定市（前橋市、伊勢崎市及び太田市）から「はかりの定期検査業務」を受託し、お陰様で、滞りなく進捗を果たしてきており、県内における計量行政の一翼を担っております。

また、重点事業として位置付けています中小企業向け測定基礎研修会におきましては、群馬県の経済の基盤となる「ものづくり」を支える中小企業向けに、系統だった計量・計測管理の手順の取得と計測機器の取り扱い技術の習得を目的に毎年恒常的に実施してきており、県内中小企業においては新任技術者養成のための貴重な社外研修として歓迎をされ、基盤技能の継承にも寄与しております。

当協会としましては、これからも行政との連携を密にし、適正な計量制度の維持を通じて、県民生活や経済社会における取引の信頼性を確保し、安全・安心な生活を守るとともに、地域繁栄のため、尽力して参る所存であります。

最後に、皆様にとりまして今年が良い年でありますようにご祈念申し上げ、言葉整いませんがご挨拶とさせていただきます。

協会の運営にご協力ご支援を賜り有難うございます。



新年のご挨拶

群馬県計量検定所
所長 長谷川 裕之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、横田会長をはじめ群馬県計量協会の皆様には、当検定所の業務運営に多大な御理解、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。おかげさまで、晴れやかに新しい年を迎えることができました。

昨年を振り返りますと、3年余りにわたり社会に混乱と停滞をもたらした新型コロナですが、5月上旬から感染症法上の位置付けが5類に引き下げられ、これを機に社会経済活動の正常化が進み、多くの商業地域や観光地などかつての賑わいが戻ってきました。県内で大きく注目された出来事としては、4月末に高崎市のGメッセ群馬においてG7群馬高崎デジタル・技術大臣会合が開催され、デジタル・技術における諸課題について議論が行われました。スポーツの分野では、3月に、ワールド・ベースボール・クラシックで侍ジャパンが大谷翔平選手らの活躍により3大会ぶりに野球世界を奪還、9月・10月は、バスケットボール男子の世界カップで日本が48年ぶりに自力で五輪出場権を獲得、ラグビーの世界カップで桜戦士たちが強豪国を相手に善戦、11月は、プロ野球日本シリーズで阪神タイガースが38年ぶりの日本一を達成など、様々な競技の選手がひたむきにプレーする姿に国民は勇気と感動をもらいました。しかし、世界に目を転じると、ウクライナとロシアの攻防は長期戦の様相を呈し、イスラエルとイスラム武装組織ハマスとの軍事衝突激化な

ど、不穏な情勢が続いています。こうした中、我が国の経済は、物価高を背景に賃金の引上げや生産性の向上が主要な課題となっています。

さて、令和6年が始動しました。計量制度の新たな動きでは、自動はかり4器種のうち、新たに取引・証明に使用する自動捕捉式はかりの検定が4月から開始されます。検定は、原則として民間事業者が担うため、計量制度における民間の役割は今後も増大していくものと見込まれます。一方、計量業界の大きな課題として、計量人材の不足・高齢化が指摘されています。急速に進む少子高齢化の影響は計量業界にも波及し、長期的な視点で捉えると、若手人材の確保・育成が急務となっています。容易なことではありませんが、関係機関・団体が問題意識を共有し、一体となってその解決に取り組んでいく必要があります。

計量制度は、国民生活の安心・安全や公正な経済活動に重要な役割を果たすとともに、社会インフラの根幹を担う重要な基盤として機能しています。計量検定所では、計量制度の動向や社会環境の変化に的確に対応するとともに、協会の皆様とも緊密に連携しながら、使命感を持って効果的な計量行政に取り組んで参ります。協会の皆様におかれましても、なお一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人群馬県計量協会の益々の御発展と、協会の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念し、新年のあいさつといたします。



平和衡機株式会社



当社校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者で、0199は当社校正室の認定番号です。

本社 群馬県高崎市問屋町3丁目5番地5
工場 群馬県高崎市大八木町611番地
URL <http://www.heiwakouki.co.jp>

- 計量器の製造・修理・卸・販売
- 計量器の検査・検量・校正
- 分銅・おもり・はかりのJCSS校正
- 計量システム的设计・開発

TEL : 027-362-3351 (共通)
FAX : 027-361-3412 (共通)
Mail : heiwa@heiwakouki.co.jp

令和5年度事業の中間報告

本年度事業は、主要事業であるばかり定期検査をはじめとした委託事業は滞りなく進捗しております。

また、「ものづくり群馬」の基盤技術を支える上で、重要な公益事業と位置付けている「中小企業向けの測定基礎研修会」についても、第1回目の研修会を無事終了することができました。

ばかりの定期検査業務実施状況

(令和5年11月末現在)

区 分	群馬県		前橋市		伊勢崎市		太田市		計	
検査戸数	884		307		112		157		1,460	
種 類	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数
手動ばかり	121	2	53	0	19	0	12	0	205	2
指示ばかり	776	7	278	4	80	2	65	1	1,199	14
電気式ばかり	744	13	1,138	28	173	6	246	4	2,301	51
分銅・おもり	605	0	236	0	95	0	75	0	1,011	0
計	2,246	22	1,705	32	367	8	398	5	4,716	67

中小企業向け測定基礎研修会

製造業において、製品の開発・設計から量産に至るまでの各ステップで、「測定」は欠かせない作業であり、「測定」によって得られたデータを基に次のアクションを起こします。

当会では、群馬県内の重要なものづくり産業の基盤である中小・零細事業者向けに科学的に体系だった教育研修の場として「測定基礎研修会」を定期的を開催しております。

本年度は、コロナの位置づけが5類に移りましたが、インフルエンザも含めた感染予防を考慮し、定員を絞って第1回目を実施しました。

- ・実施日 令和5年11月14日(火)13:30~16:30
- ・会 場 群馬県計量検定所 2階 会議室
- ・講 師 (一社)埼玉県計量協会 計量士 栗原良一
- ・内 容 第1部 測定の基礎
第2部 長さの測定
ノギス・マイクロメータの使い方
- ・修了者 8名(定員は15名)
※受講修了者には「修了証書」を交付しています。



ばかりの定期検査



中小企業向け測定基礎研修

明日の地球環境を科学する企業

株式会社 群馬分析センター

水質・大気・土壌・臭気・騒音
振動・放射能・作業環境の測定分析



〒370-0886 群馬県高崎市下大島町625
TEL 027-395-0606
FAX 027-395-0607

SDGsへの取組 1弾として環境美化運動を実施

環境分科会では、本年度からSDGsの達成に向けて、当該業務を生かした取り組みとして6「水の衛生を守る」、14「海洋資源を守る」及び15「陸上資源を守る」の3つを目標に掲げ、具体的な行動を起こしました。

去る令和5年10月31日(火)、前橋市嶺公園内を縦貫する市道及びその周辺道路において、空き缶やごみなど拾う清掃活動を行いました。



当日は、爽やかな秋晴れに恵まれ、環境分科会25会員のうち20事業者33名の方が、朝10時に嶺公園駐車場に集合し、約2時間にわたって、精力的にごみ拾いを実施しました。

回収したごみの量は、可燃物が30kg、不燃物が170kgとなり、その量の大きさには驚かされました。なかには、テレビや冷蔵庫のほか、廃タイヤなども見つかり、未だに不法投棄されている実態が垣間見られました。

ごみは、2t車のトラックに積み込み、可燃ごみは前橋市六供清掃工場へ、不燃ごみは前橋市荻窪清掃工場へ搬送し、処分していただきました。

当日ご参加された会員の皆様、大変お疲れ様でした。





前橋市SDGsパートナー制度登録

当会の環境分科会は、環境に係る分析（河川や工場排水などの水質検査や、土壌や廃棄物の溶出検査、湖沼や河川の底質検査など）を行い、物質の量や濃度などを計測し、第三者に対して証明を行う環境計量証明事業者による内部組織で、社会及び自然環境の保全につくすことを目的に、本県の特徴である「首都圏の水源地である利根川流域の水資源を守る」ことを使命とし、そのために浄化槽排水の分析等を通じ、家庭及び事業所排水の適正処理を促進していくことを主たる業務としています。

本年度からSDGs達成に向けてSDGs17の大きな目標のうち、当該業務を生かした取り組みとして6「水の衛生を守る」、14「海洋資源を守る」及び15「陸上資源を守る」を目標に掲げ、多くの方々と協力して持続可能な社会の実現を目指そうと、前橋市SDGs パートナー制度に登録し、活動を開始しました。



<達成目標>

2030年までに、だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにする。



<達成目標>


2025年までに、海洋ごみや富栄養化など、特に陸上の人間の活動によるものを含め、あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。



<達成目標>

2020年までに国際的な協定にしたがって、森林、湿地山地、乾燥地など陸上の生態系と内陸の淡水地域の生態系、および、それらがもたらす自然の恵みを、守り、回復させ持続可能な形で利用できるようにする。


建設コンサルタント 環境計量証明事業
 補償コンサルタント 測量・地質調査業

 **プロファ設計株式会社・環境研究所**


〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町629-1
 Tel (0270) 62-2111
 Fax (0270) 62-2112
 URL <https://www.propha.co.jp>
 E-mail propha@propha.co.jp

食品の生産・加工過程と、食品の安全性向上に貢献し、もって人の健康と好ましい生活環境を持続できる社会構造を実現する

- ・食品衛生検査及びコンサルティング
- ・家畜衛生検査及びコンサルティング
- ・環境検査
- ・各種受託試験

 **株式会社食環境衛生研究所**

〒379-2107
 群馬県前橋市荒口町561-21
 TEL:027-230-3411 FAX:027-230-3412
<https://www.shokukanken.com>





群馬県計量検定所コーナー

計量制度は秩序ある社会生活や経済活動を支える基本的な制度であり、適正な計量を確保することは、県民の安全・安心な生活や経済の発展、文化の向上に極めて重要です。

計量検定所では、正確な特定計量器を供給するとともに、使用されている特定計量器から不適合品を排除するため、法令に基づき特定計量器の検定・検査、基準器の検査、計量証明検査を行っています。また、県民の安全・安心な生活を守る観点から、特定計量器の適正使用や商品量目の正量取引を確保するため、立入検査を実施しています。

計量制度普及啓発

【はかりの工作教室】

検定所では、市町村と連携し、日頃何げなく使用しているはかりや正確な計量の大切さを理解してもらうための取り組みとして、小学生を対象に「夏休みはかりの工作教室」を開催しました。牛乳パックを利用したさおばかりを作成し、完成したさおばかりで文房具や駄菓子などの重さをはかりました。

参加した小学生からは、「見たことがないさおばかりを作れて楽しかった。」「いろいろな物の重さを知ることができて良かった。」「自分で使える物が作れて楽しかった。」等の感想をいただきました。

今年度の開催状況は以下のとおりです。

実施市町村	開催日	会 場	参加者数
前橋市	7月24日(月)	前橋市総合福祉会館	7名
吉岡町	7月25日(火)	吉岡町文化センター	9名
館林市	8月4日(金)	館林市赤羽公民館	12名
藤岡市	8月18日(金)	地域づくりセンター藤岡	10名



前橋市の開催状況



吉岡町の開催状況



館林市の開催状況



藤岡市の開催状況

また、11月の計量強調月間の一環として、群馬県生涯学習センターと連携し、小学生を対象に「おもしろ科学教室 さおばかりを作ろう！」を開催しました。今年度の開催状況は以下のとおりです。



おもしろ科学教室の開催状況

【計量啓発標語】

県民の皆さんに、計量への関心や適正な計量への意識を高めてもらうため、募集期間を7月1日から8月31日までとして計量啓発標語を募集しました。今年度の入選作品は次のとおりです。

また、共催先である群馬県計量協会にて入選作品を計量標語ポスターとして作成し、県内の関係機関あて配布を行いました。

「計量で 社会の安心 可視化する」(新井 崇史)

「正しく計る責任感そこから得られる安心感」(吉井 咲喜)

【出前啓発事業】

各市町村が主催する消費生活展等(10月～11月)に計量検定所が出展し、計量に関するパネルクイズや重さ当てゲーム等を実施したほか、計量啓発用物品(ウェットティッシュ、パズル付き定規、クリアファイル、風船、リーフレット等)の配布を行いました。今年度の開催状況は以下のとおりです。

実施市町村	開催日	会場	参加者数
沼田市	10月7日(土)8日(日)	沼田公園	パネルクイズ 175名 重さ当てゲーム 508名(2日間)
伊勢崎市	11月1日(水)	スマーク伊勢崎	パネルクイズ 207名 重さ当てゲーム 250名
千代田町	11月5日(日)	ジョイフル本田千代田店	パネルクイズ 182名 重さ当てゲーム 244名
館林市	11月19日(日)	つつじが岡公園	パネルクイズ 149名 重さ当てゲーム 348名



沼田市の開催状況



伊勢崎市の開催状況



千代田町の開催状況



館林市の開催状況



太田市の計量行政

太田市では、平成19年4月1日に特定市の指定を受け、「取引等」における適正な計量の実施を確保するため、計量業務を開始しました。現在は産業環境部産業政策課が計量業務を行っています。

事業の概要

(1) はかりの定期検査

計量法に基づき、事業所等で取引・証明に使用される特定計量器について、平成19年度から指定定期検査機関として群馬県計量協会を指定し、年1回の定期検査を実施しています。

(2) 立入検査

取引・証明に使用されている計量器について、対象の事業所に立ち入り、特定商品の量目及び表示、計量器の管理及び使用状況等の検査を実施しています。商品量目立入検査は年2回、燃料油メーター立入検査は年1回実施しています。

(3) 計量モニター

消費者による実態調査を通じて消費生活物資の流過程における適正な計量を促進することを目的として、市内在住の消費者から4名を計量モニター調査員として委嘱し、1箇月間モニター調査を実施しています。調査員には対象商品を購入後、太田市から貸与する計量器で計量し、購入日ごとに日誌に記録していただきます。また、提出された日誌をもとに、調査結果について集計分析し、立入検査等へ活用し、適正計量の確保を図っています。

(4) 計量思想普及事業

計量記念日事業として計量記念日ポスター及び計量管理標語ポスターの掲示、PRパンフレット及び啓発物品の配布を行っています。また、市民に計量についての正しい知識と理解を広めるため、本市広報誌「広報おおた」へ計量強調月間の記事を掲載しています。

さらに、本市主催の産業環境フェスティバルにて、計量啓発物品の配布を行い、計量思想の一層の普及を図っています。



計量モニター説明会の様子



太田市マスコットキャラクター
「おおたん」

関東甲信越計量団体連絡協議会概要 ～長野計量大会～

令和5年10月26日(木)～27日(金)、長野県長野市ホテルメトロポリタン長野において、経済産業省仁科計量行政室長を迎え、関東甲信越計量団体連絡協議会第2回計量大会が盛大に開催されました。

議事は協議議題1として、小学生を対象に計量啓発活動への重要性が認識される中で、長野県計量協会から「新たなメディアを活用した小学生向け計量・計測の普及啓発活動について」の提案があり、事前アンケートによる各都県の実情を調べた上で課題や問題点を洗い出し、また、先進的取組として、東京都計量士会と地元環境計量証明事業者の小柳産業から事例発表があり、新たなメディアの活用や学校を取り込んだ事業展開ができな意見交換を行いました。



協議議題2としては、同じく長野県計量協会から「トラックスケールの器差検査等に使用する基準分銅等と「仮分銅」について」の提案があり、事前アンケートによる各都県の仮分銅の使用基準などの状況をまとめた上で、その実態等について意見交換を行いました。

次に、会長からの付議事項である「一般計量士の育成について」、運営委員会から中間報告があり、続いて感謝状贈呈式と記念講演がありました。



記念講演会では、画狂人葛飾北斎の肉筆画美術館信州小布施「北斎館」学芸員櫻井貴基様が「葛飾北斎の生涯～信州小布施の名品～」と題して大変興味深い話がありました。

葛飾北斎と小布施との関わりは、北信の豪農商高井鴻山の招きで、83歳～89歳の間に、江戸から240km離れた小布施まで徒歩で4回訪れ、晩年の大作として「八方睨みの鳳凰図」をこの地に残したそうです。

会員紹介コーナー

■計量士部会の紹介

部会長 笹尾 利昭

1. 計量士とは

計量に関する「専門知識」と「技能と経験」を持った者であり、国家登録された資格者です。一般計量士と環境計量士（濃度・騒音）に区分され、計量士部会は一般計量士で構成する組織です。

2. 計量士の業務は

計量管理を職務とする者で、主な職務は計量器の整備、計量の正確の保持、計量方法の改善、その他適正な計量の実施確保をするため必要な措置を講ずることで、取引や証明などにおいて、適正な計量を確保するため不可欠な資格です。

具体的には、工場、百貨店、スーパーマーケットなどで使用されている「はかり」の定期検査に代わる検査（いわゆる代検査）を行うことができるほか適正計量管理事業所の指定要件等であり、計量制度における役割は重要です。

3. 計量士部会について

個人資格である計量士が計量協会計量士部会に入会し、非常勤計量士に登録して、計量協会の計量管理業務である、行政の代わりに行う「はかり」の定期検査業務のほか日本郵政グループの計量管理業務や、イオングループ等の計量管理を実施するなど計量士の担う役割は大きく、計量士なくして業務は成立しない状況です。

現在、8名の計量士で組織しており、部会内の計量士の多くは官公庁や企業を定年退職した者が主体で高齢化が進行してきており、対応の一つとして計量協会常勤職員の技術部門を担う若手計量士の育成に努め数年で3名体制の常勤計量士となり、そして計量全般の技術集団の中心としての活動を目指しております。

4. 計量士の取得について

計量士資格を取得するには、国家試験に合格するか、産総研研修センターにおいて計量教習を修了して、資格認定を受けるかのいずれかに加えて、必要な実務経験を積む必要があります。

5. 最後に

企業内計量士の入会と計量士を希望する者が多くなり、時代に即応した知識を持つ仲間が増え、法定計量を超えた計量全般の業務ができることを期待しております。

問い合わせなどは協会事務局（027-263-8217）までお願いいたします。



編集後記

みなさん、東北の名峰・栗駒山の紅葉を観たことがありますか？

私は、今年の10月22日（日）、ユーチューブの山行動画でこの紅葉を知りました。その紅葉は、「神の絨毯」と称され、極彩色で彩られたそれは美しい紅葉です。

栗駒山は、宮城・岩手・秋田の三県にまたがる標高1626mとさほど高くない高原状の山ですが、その高原一面が紅葉します。

山登りをする私にとりましては、美しい紅葉の場所と言えば上高地の涸沢であり、その紅葉の鮮やかさを思い浮かべますが、この栗駒山の紅葉を観たときには、この世のものとは思えないほどの美しい紅葉に見惚れてしまいました。そこで、これは直に観ないわけにはいかないと22日の夜に思い立ち、ネット情報をみれば栗駒山の紅葉は7～8分咲きとあったので、2日後の24日（火）に急遽休暇を取り、家から登山口（岩手県）まで往復11時間をかけて日帰り弾丸登山を敢行しました。

ところが、山頂には立ったものの、木々はすべて落葉したあとで、思いを遂げられなかったというエピソードです。みなさん、ぜひ、この神の絨毯と称される紅葉を観に行ってみてください。私は来年リベンジする予定です。

(H・S)



令和5年度の計量啓発標語ポスター

群馬県計量検定所では、一般社団法人群馬県計量協会との共催により、広く県民の方々に、計量への関心や適正な計量への意識を高めてもらうため、毎年計量啓発標語を募集しており、令和5年度は下記の作品が入選となりました。

入選作品は、県内自治体や計量関係事業所等に計量標語ポスターとして配付されたほか、各種普及啓発資料等にも活用されました。

2023年(第57回)

計量強調月間

11月1日~11月30日

計量で
社会の安心
可視化する

11月1日 計量記念日
群馬県・市町村
(一社)群馬県計量協会

2023年(第57回)

計量強調月間

11月1日~11月30日

正しく計る責任感
そこから得られる安心感

11月1日 計量記念日
群馬県・市町村
(一社)群馬県計量協会



令和5年度の計量記念日 全国統一ポスター

計量記念日とは、社会全体の計量制度に対する理解の普及を図るために昭和27年から定められたもので、現在は、現行の計量法が施行された11月1日を「計量記念日」とし、また11月を「計量強調月間」とし、計量制度の普及や社会全体の計量意識の向上を目指し、今年も全国各地でいろいろなイベントが行われました。

このポスターは、計量記念日を広く国民の方々へ周知するため、一般社団法人日本計量振興協会が作成し、全国の都道府県、特定市、計量団体及び計量関連機関等に掲示されました。

CROWN

正統派セダンとしての上質な走りや快適な乗り心地、
ショーファーニーズにお応えするくつろぎの後席空間、
パーソナルにもビジネスにもお応えするニューフォーマルセダン。

群馬トヨタ

本社 高崎市東町 80 ☎0120-23-7500

Gtoyota.com





磯部機工株式会社 設備点検グループ

〒379-0127 群馬県安中市磯部2-13-1
TEL:027-385-2823 圧力計：検定校正
FAX:027-385-2824 秤：点検校正
安全弁：分解整備

24H体制の安心・信頼 SSの保守・メンテナンス、おまかせ下さい!! 株式会社ダイイチトレーディング

計量機検定・SS定期点検・保守・管理

〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町336

TEL (0270) 62-8800 FAX (0270) 62-1511

HP <http://www.daiiti-k.co.jp>

関連会社 第一工業株式会社 本社

〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町336

TEL (0270) 62-1512 FAX (0270) 62-1511

東京支店

〒140-0001 東京都品川区北品川一丁目11-1 寿ビル4階

TEL (03) 6712-3931 FAX (03) 6712-3932



〔 私達は、JAグループの一員として
安全・安心・新鮮な食肉をお届けします。〕

対米・対EU輸出認定施設

株式会社 群馬県食肉卸売市場

代表取締役社長 中里 昌弘

〒370-1104

群馬県佐波郡玉村町大字上福島1189番地

☎0270-65-2011・FAX 0270-64-5317

人間活動と環境の調和・発展を希求する総合分析試験センター



株式会社 環境技研

〒370-3511 高崎市金古町1709-1

TEL (027)372-5111 FAX (027)372-5001

URL <http://www.get-c.co.jp>

E-Mail info@get-c.co.jp

調査・分析のお困りごとは、何でもご相談ください



分析機器・理化学器械

環境測定器・材料試験機

株式会社 新井商会

〒370-0042 群馬県高崎市貝沢町622番地

TEL 027-362-5551 FAX 027-362-3270

URL <http://www.arai-sk.co.jp>

はかり・POS・FA

新しい常識を創造する。

株式会社 寺岡精工

群馬営業所 ☎027(346)6200



130th

はかる・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ

「はかる」に向かいつづけて130年
世紀を越え、分野を越え、世界を越え、
皆様のお役に立てる企業を目指して参ります。

株式会社イシダ 群馬営業所

<http://www.ishida.co.jp>

〒370-0046

群馬県高崎市江木町1728

TEL (027) 328-0034

FAX (027) 328-2956



X線異物検出装置



卓上包装機D-top-UNI



群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800 (代)

大和分析センター **濃度計量証明事業所登録**

TEL.027-290-1865 FAX.027-290-1897



分析器械・計量計測器を通じて
人と人のつながりを大切にする

Humantec Union

日立・堀場理化学器械特約店



株式会社 ヌニオン

〒370-0862 群馬県高崎市片岡町3丁目2-11

TEL 027-323-1234(代) FAX 027-323-6809

営業所 宇都宮・埼玉・川崎

Customer Excellence

～さらなる向上をめざして～

営業品目 / 分析装置・理化学機器
計装機器・実験設備



大木理工機材株式会社

〒370-0874 群馬県高崎市中豊岡町801 TEL 027-323-4400 FAX 027-326-6336

URL: www.ohkiriko.co.jp/

**エネルギーインフラに
新しい答えを。**

新たな価値の創造で安心・安全・効率的な
エネルギーインフラの進化を支え、明日の社会に貢献するために。
これから私たちは、アイデアとノウハウ、AI/IoTといった
最新技術とエンジニアリングを結び、
想像を超えたソリューションを次々とカタチにしていきます。
激しい時代の変化の中、本当に必要な答えを探お客様と私たちの
新たなリレーションが始まります。

トキコシステムソリューションズ株式会社
前橋営業所 〒371-0847 群馬県前橋市大友町 2-15-2
TEL. 050-3537-3948 FAX. 027-251-6050
www.tokicosys.com



地球と約束リサイクルに取り組む

HISAMATSU **久松商事株式会社**

代表取締役 久松 一夫

前橋市北代田町 6 9 1 番地
TEL 0 2 7 - 2 3 1 - 8 2 2 5
FAX 0 2 7 - 2 3 2 - 2 7 8 8
HP: <http://www.hisamatsu-syouji.com>

環 境 分 析
計量証明事業 登録番号 環第43号

有限会社 吾妻分析センター

〒377-1308
群馬県吾妻郡長野原町大字大津417
TEL 0 2 7 9 - 8 2 - 2 9 2 1
FAX 0 2 7 9 - 8 2 - 1 0 0 3

重要機密書類の処理方法は安全ですか？

最高機密処理設備完備
出張細断・回収・リサイクルまで書類・古紙のご相談は

☎0278-22-1010 信頼の49年 ISO 27001
沼田市屋形原町2113番地

街の森 **ウブカタ資源株式会社**



TATSUNO
Innovation, In Reliable Services

**TATSUNO
RESPONSIBILITY**

数々の経験と共に受け継がれる責任感。
私たちは危険物施設の点検やメンテナンスを通じて安全と安心を提供しています。
タツノはこれからも皆様に信頼される企業であり続けられるよう努力を重ねてまいります。

株式会社タツノ 関東支店 群馬営業所
〒370-0851 群馬県高崎市上中居町575番地2 **TEL 050-9000-5609**

